



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月8日

上場会社名 大木ヘルスケアホールディングス株式会社  
コード番号 3417 URL <http://www.ohki-net.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 秀正

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 (氏名) 宇部 由信

TEL 03-6892-0710

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	252,669	10.0	1,406	11.4	2,312	13.4	1,592	11.7
2023年3月期第3四半期	229,604	9.2	1,261	101.8	2,038	49.3	1,425	52.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,512百万円 (50.1%) 2023年3月期第3四半期 1,673百万円 (731.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第3四半期	115.48	
2023年3月期第3四半期	103.39	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	144,689	26,479	18.2
2023年3月期	122,539	24,271	19.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 26,400百万円 2023年3月期 24,125百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭 22.00	円銭 22.00
2024年3月期					

(注) 2024年3月期の配当予想につきましては、この四半期決算短信の発表時点において、未定としております。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染症法上の類型が「5類」に引き下げられることに伴う影響及びインバウンド需要の回復に伴う影響等を現時点において算定する事が困難である為、この四半期決算短信の発表時点において未定としております。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	14,072,100 株	2023年3月期	14,072,100 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	280,720 株	2023年3月期	280,575 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	13,791,491 株	2023年3月期3Q	13,791,525 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想等の前提となる条件及び業績予想等のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記).....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (当期の経営成績)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの正常化に伴う景気回復が持続している一方で、エネルギーや原材料価格の高止まり、円安定着による輸入物価の上昇、人手不足に起因するサービス価格やコストの上昇傾向が続いております。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、イスラエルによるガザ地区への侵攻或いは中国経済の成長鈍化が顕著になる等の海外経済の不確実性が高まりつつあるなか、先行きの見通しは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「医薬品スタンディングの美と健康と快適な生活にウイングを持つ需要創造型の新しい中間流通業」として、生活者の多種多様な潜在需要の顕在化を目指し、医薬品・健康食品・化粧品・衛生医療用品から、日用雑貨品に至るまで、生活者が満足して購入し、使って頂けるヘルスケアカテゴリーを積極的に提案し供給に努めてまいりました。

当社グループの属するヘルスケア業界におきましては、感染症予防対策としてのマスクや抗原検査キット、消毒液等は、前年度の反動により需要減となりました。反面、風邪薬や解熱鎮痛剤等の医薬品や健康食品・化粧品等の商材が前年を大きく上回りました。

しかしながら、インバウンド需要の激減、人口減少による需要の減退、大手ドラッグストアの業界再編による規模拡大、人件費・物流コストの上昇、電気代の急騰、販売競争の激化等、当社グループを取巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような状況のもと、中長期的な将来展望を踏まえ、未来に向けてチャレンジし続ける企業文化を構築するとともに、健康寿命延伸産業の中核流通となるべく、企業価値向上に取り組んでまいりました。

そのため、考え方を共有する小売店とパートナーシップを組み、医薬品・健康食品・化粧品・衛生医療用品、更には日用雑貨品に至るまで消費者が満足して購入し使って頂けるカテゴリー提案を積極的に行うとともに、店頭での販売力を強化する為の「インスタマーチャンダイジング」の展開など中長期的な企業価値向上や持続的な成長を目指し、市場シェアを拡大するべく事業を積極的に展開いたしました。

具体的には、「新しい売上を作る!新しいお客様を作る!」べく、新しいカテゴリーへの取組を強化するとともに、広範な商品調達力の拡充と非価格競争のできる商流力アップに努めてまいりました。

また、専売品の売上構成を高めるとともに、利益構造の改革を図り適正利益の確保に努めてまいりました。

さらに物流部門の生産性向上による経費抑制効果や効率改善に向けたDX(デジタルトランスフォーメーション)を進め業務改革に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は252,669百万円(対前年同期比10.0%増)、連結経常利益は2,312百万円(対前年同期比13.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,592百万円(対前年同期比11.7%増)と増収増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金が13,561百万円増加した事等により、結果として22,149百万円増加の144,689百万円となりました。また、負債は、仕入債務が21,218百万円増加した事等により、19,942百万円増加の118,209百万円となり、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,592百万円であった事等により、2,207百万円増加の26,479百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績見込につきましては、新型コロナウイルスの感染症法上の類型が「5類」に引き下げられることに伴う影響及びインバウンド需要の回復に伴う影響等を現時点において算定する事が困難である為、未定としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,240	5,844
受取手形及び売掛金	66,394	79,956
棚卸資産	23,755	28,173
その他	11,341	11,665
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	104,717	125,625
固定資産		
有形固定資産	5,716	5,581
無形固定資産	169	170
投資その他の資産		
投資有価証券	7,503	8,930
その他	4,455	4,399
貸倒引当金	△22	△18
投資その他の資産合計	11,936	13,311
固定資産合計	17,822	19,063
資産合計	122,539	144,689
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,944	73,872
電子記録債務	21,181	25,471
短期借入金	6,617	4,601
引当金	295	158
その他	9,329	10,061
流動負債合計	94,367	114,165
固定負債		
長期借入金	1,845	1,612
引当金	233	232
退職給付に係る負債	907	904
その他	913	1,295
固定負債合計	3,899	4,044
負債合計	98,267	118,209
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,486	2,486
資本剰余金	1,432	1,432
利益剰余金	16,640	17,929
自己株式	△255	△255
株主資本合計	20,303	21,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,866	4,836
退職給付に係る調整累計額	△44	△28
その他の包括利益累計額合計	3,821	4,807
非支配株主持分	146	78
純資産合計	24,271	26,479
負債純資産合計	122,539	144,689

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	229,604	252,669
売上原価	217,943	239,844
売上総利益	11,660	12,824
販売費及び一般管理費	10,398	11,418
営業利益	1,261	1,406
営業外収益		
受取利息	12	15
受取配当金	115	120
仕入割引	195	235
情報手数料	317	357
その他	187	225
営業外収益合計	827	954
営業外費用		
支払利息	25	26
売上債権売却損	21	20
その他	3	2
営業外費用合計	50	48
経常利益	2,038	2,312
特別利益		
投資有価証券売却益	24	3
受取補償金	-	206
特別利益合計	24	209
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	-	63
特別損失合計	0	63
税金等調整前四半期純利益	2,062	2,458
法人税、住民税及び事業税	621	986
法人税等調整額	10	△54
法人税等合計	632	932
四半期純利益	1,430	1,525
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△66
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,425	1,592

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,430	1,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	228	970
退職給付に係る調整額	14	16
その他の包括利益合計	242	986
四半期包括利益	1,673	2,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,668	2,578
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△66

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。